

※今回は薬とは全く関係のないお話になります。

日本の歴史始め

これまでに多くの人達がこの分野の研究に関わり王道の説や突拍子もない新説や珍説が発表されているが、なにせ大昔の話で物証となる遺跡や遺物が発掘されないかぎり何も証明されない分野である。だからこそ誰もが珍説を出せる楽しい学界だ。で、私は単に復習して大昔に思いを馳せてみたい。

1) S：主観的資料；古事記と日本書紀

日本国の歴史書として良く知られているのは**古事記**と**日本書紀**で(合わせて**記紀**と呼ばれている)、それぞれ西暦**712年**と**720年**の完成である。**古事記**は**日本国内向け**の支配者(天皇)の正当性を記したものであり、**日本書紀**は**海外(特に中国)向け**の国書としての歴史書の位置付けになる。古事記以前にも書物は存在しており、引用例に「**一書に曰く**」とされているように多くの他の歴史書の存在が示唆されているが、残念ながら現存していない。この背景には当時の支配階級である天皇が自分達に都合な記録を抹消して自分達に都合のよい文書(記紀)だけを残した可能性が指摘されている。

結局、日本の古代の歴史を知るには「**記紀**」に頼らざるを得ないが、西暦年号との一致性を認める古い記事でいうと**聖徳太子(厩戸皇子)**などが活躍した西暦**593年**頃とか、更に遡り西暦**527年**、近畿地方に拠点をおいていた**継体天皇**の軍が朝鮮半島へ出兵するのを九州で**筑紫君磐井(ツクシノキミイ)**が阻止して起きた**磐井の乱**の戦いまでだろうか。

さらに**実在すら疑わしい**とされるが、**逆算**して西暦の分かる最も古い記録は**カムヤマトイワレビコノミコト**(のちの初代天皇の**神武天皇**)が九州宮崎県の高千穂から奈良県の大和地方へと侵略を開始し、少なくとも**16年以上の歳月**をかけて移動して**奈良県大和地方**を征服した**東征**の記録である。

何故、奈良県大和地方を目的地としたのか？そこには既に日本を平定するのに十分な権力の存在があり、それを奪い取れば日本を平定したことになったのか？いろいろと分からないことだらけであるが、その地で天下を治めた**紀元前660年**にカムヤマトイワレビコノミコトは正式に**初代天皇、神武天皇**として即位した。正確な年とはともかく大和の地から天皇家の歴史が開始されたのは間違いないだろう。

2) O：客観的資料；魏志倭人伝

中国の歴史書は客観性からいうと日本書紀よりも格段と上になると思われる。最初に日本の記述が現われるのは**魏志倭人伝**である。日本という名前は当時まだ使われておらず、**倭国(ワク)**と呼ばれていた。

当時というのは大体**紀元前1世紀**なので中をとって**紀元前50年前後**といったあたりだろう。その時、倭国は**100余りの国**に分かれていたという。

「**倭**」という漢字は**従順な**という意味なので、100もある倭のどこかの国が中国に従順な態度を示していたのであろう。すると地理的に中国に一番近い**九州の北部にある最も力のある国**が中国と親密に国交をしていたとどうしても考えてしまう。ちなみに「**倭**」の読みは漢和辞典では「イ(平)」と出てくるが中国語読みで「wei」または「wo」である。最後の「**wo**」音がウォとなりワに近くなる。

神武天皇が東征して奈良県大和地方を平定した**紀元前660年**が真実だとすると、そこから**600年後**には日本は100余りの国に分裂していたことになり、神武天皇の子孫の**天皇家の勢力は大和地方に限定**されており中国との国交は一番遠い存在であった可能性がありそうだ。

西暦**147年**頃に**倭国は大いに乱れた**という。その後の西暦**189年**頃に**邪馬台国の卑弥呼**が倭の**連合国家**の元首として現れる。邪馬台国の位置については現在でも色々な説があり確定していないと言って良いだろう。奈良県大和説が有力とされるが、北九州説も捨てがたい。その他だという学者もいる。

決定的な遺跡かタイムマシンが発明されない限りやはり楽しい議論が続く学界だ。やがて卑弥呼も死を迎えて男の王を立てるが国が乱れたため、西暦**266年**までには卑弥呼と同族の娘、**香与(イヨ)**「一

【お詫び】数多い歴史書の記事を2枚にまとめること自体困難な話で自分にとって都合のよい記事を選択しました。

説に臺与(トヨ)」が13歳で連合王国の元首となって、ようやく国内の乱れも収まる。

中国との関係は良好で卑弥呼の時代から壺与の時代まで中国とのやり取りは常になされていた。

3) 中国資料と日本書紀の共通点はあるのか

日本書紀の記録を逆算すると西暦200年に神功皇后が朝鮮に出兵をしている。時期的には卑弥呼が現われた時期(189年)とほぼ一致するので女王卑弥呼を神功皇后とみなす説もあるが、卑弥呼の弟王や後継者壺与に相当する人物が大和朝廷の皇族にいないなど謎が多いため別の組織(王朝)と見た方が合理的かもしれない。2~3世紀ごろは日本国と言う統一国家はまだ存在せず、いくつかの国が群雄割拠していた時代で、卑弥呼の邪馬台国グループ(倭)は北九州を中心にして主に中国との交易を重視し、大和朝廷の天皇家グループは1つの強大な豪族の1つとして朝鮮半島への関わりに重点を置いていたのではないだろうか。中国側資料によると西暦266年から中国と倭国とのつながりを示す記事は無くなり、次に現われるのは147年後になるが西暦404年迄に倭は朝鮮半島へ出兵し半島へも関与する。

その後、西暦421年から西暦479年にかけて中国の歴史書の中に再び倭の記事が出てくるが、それは中国に使いを出してきた倭国の五王の名前で年代順に並べると讚→珍→済→興→武となる。

いずれも一文字名なので中国側が倭の国王に対して中国名を与えてそれらを記録したと思われる。この名も日本の天皇の誰に相当するのかと色々議論が分かれているが正確な対応は不明である。おそらく中国と位置的に近い北九州を中心とした強大な勢力の豪族か王朝の王の名前ではないだろうか。

以上の話は実は古田武彦氏の著書「失われた九州王朝(昭和54年)」からの引用改変で、彼は『卑弥呼からつながる九州王朝と神武天皇からつながる大和朝廷の大きな二つの勢力が日本に存在していた』と考えた方が合理的であるという理論を展開した。そして「生まれた神話(昭和54年)」では九州王朝の業績が、自分達大和朝廷が行なった業績のように「記紀」に組み込まれていると述べているが、いずれも彼の説を裏付ける物的証拠が何もない。いわゆる状況証拠のみである。楽しい分野である。

西暦527年に磐井の乱があったと先に書いた。日本書紀に筑紫君(つくしのきみ)と書かれている磐井という人物が起こした大和朝廷に対する反乱である。君とは『人を治める』という意味のある漢字で王と解釈して良いだろう。つまり磐井は筑紫王国(北九州)の国王だった。倭の五王が筑紫王国の先帝達であったかは分からないが、そうだとすると最後の「武」王が中国と通じていた頃の強大な勢力は半世紀近く経つと失われ始め、東からきた強大な勢力の大和朝廷の前に屈してしまった。そして、その時、大和朝廷は真に日本を統一したのだろう。聖徳太子が活躍するのはその約70年後になる。

4) その他の情報

①日本という国名: 倭国から日本国と呼び名が変わったのは西暦701年の大宝律令あたりだと言われているが、はっきりとは分かっていない。日本は中国にとって日が出てくる方向の国、東の国という意味合いだったとも言われている。『日出る処の天子から・・・』というフレーズは有名だ。

②天皇の祖先: カムヤマトイワレビコノミコト(後の神武天皇)が高千穂で東征を開始する際の会議で「天祖ニニギが天降って179万2470余年たつ・・・」と発言している。私はこの約180万年という歳月自体があり得ない数値だと思っていたが、本NEWS141号の人類史をふと思い出した。

日本列島は2万年前までは大陸と地続きであった。アフリカで約20万年前に誕生した我々ホモ・サピエンスは10万以上をアフリカで過ごしてから、アフリカを出て世界各地へと移動を開始する。日本の近くには2万5千年前に来ており彼らは当時地続きだった日本に十分に到達している。しかしニニギは180万年前に存在していた人物なのでホモ・サピエンスではありえない。一方、3万年前に絶滅した人類の一つホモ・エレクトスは約180万年前にホモ・エルガスターからアフリカとアジアで進化して誕生した。この年代はニニギが存在した180万年前とよく一致する。

つまり天祖ニニギは現代では絶滅した人類ホモ・エレクトスになる。ホモ・エレクトスには北京原人とかジャワ原人も含まれる。ホモ・サピエンスとホモ・ネアンデルタレンシスとの交配は確認されているがホモ・サピエンスとホモ・エレクトスは交配の形跡がないとされている。しかし、意外と天皇はホモ・サピエンスとホモ・エレクトスの交配の末裔なのかもしれないし、また我々日本人の多くもホモ・エレクトスのDNAが無限希釈されたホモ・サピエンスかもしれない・・・(終わり)

【お詫び】 数多い歴史書の記事を2枚にまとめること自体困難な話で自分にとって都合のよい記事を選択しました。

【NO215 号日本の歴史始めの参考年表】

年代	中国の歴史書	古事記・日本書紀	備考
BC180 万年		ニニギ命の天孫降臨(高千穂)	ホモ・エレクトス誕生(アジア)
BC35 万年			ホモ・ネアンデルタレンシス誕生
BC20 万年			ホモ・サピエンス誕生(アフリカ)
BC10 万年			ホモ・サピエンス出アフリカ→世界各地へ
BC2 万 6 千年			ホモ・エレクトス絶滅
BC2 万 4 千年			ホモ・ネアンデルタレンシス絶滅
BC680 年頃		後の神武天皇が東征開始	宮崎県高千穂から奈良県大和へ
BC660 年		神武天皇、大和にて即位	大和朝廷の初代天皇
BC50 年頃	倭国100余国あり		中国では全体を倭国としていた。
AC147 年	倭国、大いに乱れる		
189 年	邪馬台国に女王卑弥呼誕生		男王(弟)と二人体制で統治 連合国家の首長的立場
200 年		神功皇后が朝鮮出兵	卑弥呼の可能性(矛盾も多い)
? 年	卑弥呼死後倭国乱れる		連合国家ゆえの乱れらしい
266 年	奘与が立ち倭国安定へ		大和朝廷に対応する女帝なし
	100 年近く倭の新たな記録無し		
369 年	倭が南朝鮮へ出兵		この頃より倭国の朝鮮半島へ干渉が多くなる。この倭は倭国のどの国なのだろう？
404 年	倭が高句麗へ出兵		
421 年	倭王 讚の記載(宋)		当時の大和朝廷の天皇との当てはめも行われるが矛盾が生じている。 中国側資料に該当する大和朝廷の天皇がいない？この倭王は大和朝廷とは別の王朝の王か？
438 年	倭王 珍の記載(宋)		
443 年	倭王 済の記載(宋)		
462 年	倭王 興の記載(宋)		
479 年	倭王 武の記載(宋)		
527 年		筑紫君磐井の乱(磐井敗北)	九州で大和朝廷軍との戦い
538 年		仏教伝来(552 年説あり)	
593 年		聖徳太子が摂政となる	
607 年		小野妹子 遣隋使	法隆寺創建
630 年		犬上御田鍬 遣唐使	
663 年		白村江の戦い(朝鮮半島にて)	倭軍が唐軍に敗れ朝鮮利権放棄
701 年		大宝律令	この頃日本国名を使い出す
712 年		古事記できる	当時、魏志倭人伝は日本にも伝わっていたが卑弥呼が記紀に反映されていないという謎がある。
720 年		日本書紀できる	

【お詫び】 数多い歴史書の記事を 2 枚にまとめること自体困難な話で自分にとって都合のよい記事を選択しました。